



## 巻頭言

大分県医療ソーシャルワーカー協会  
会長 井元 哲也



遅ればせながら本年も宜しくお願い致します。

昨年、最大の事業でありました九州大会は皆様のご協力により、盛況のうちに終了する事ができました。改めまして心よりお礼申し上げます。詳細の報告につきましては、「かわら版九州大会特別号」にてお伝え致します。

本年の協会最大の事業は「一般社団法人への移行」です。一般社団法人への移行につきましては、九州大会終了後の臨時総会において承認されておりますので、今月末の定期総会では現協会を一度解散させ、「一般社団法人大分県医療ソーシャルワーカー協会」として生まれ変わる事となります。当協会発足から55年目にして、大切な節目の総会となります。皆様のご出席を御待ちしております。

さて、今日の医療・介護情勢において、我々を取り巻く環境は大変厳しいものである事は皆様もご承知の通りと思います。

地域包括ケアシステム構築を目的とした更なる医療機能分化の促進とそれに伴う在院日数の短縮化、退院支援・連携に関するルールの策定及び他職種による退院調整等、国が示す2025年に向けた様々な取組は我々の日々の業務に大きな影響を与えています。このような状況下において、改めて医療ソーシャルワーカーの専門性が問われていると共に、患者や地域そして組織からの要請に対応しうる柔軟性と実践力が求められていると考えます。

先述しました通り、今年は当協会にとって一般社団法人としての新たな一步を踏み出す節目の年となります。

協会としましても、この機に専門職団体としての役割を再考し、これまで以上に会員皆様の声を協会運営に反映できる仕組み作りに取り組む所存です。

ご協力の程宜しくお願い致します。





## スーパーバイザーフォローアップ研修

平成 27 年 2 月 15 日 (日)

スーパーバイザー登録者を対象に、大阪市立大学大学院 生活科学研究科生活科学部 教授の岩間伸之先生をお招きし、『地域を基盤としたソーシャルワークをめぐる動向とMSWの役割ー「実践を言葉で説明する力」の向上に向けてー』のテーマの下、ご講演頂きました。



今回、実習指導者フォローアップ研修に、「実践を言葉で説明する力」の習得を目標に参加させて頂きました。ソーシャルワーカーの持つべき価値を含め、地域包括ケアシステムや支援困難事例についても学ぶことができました。

まず、実践の根拠はソーシャルワークの価値であるということ、その価値を実践できなければ、実践は言葉で説明することはできない、ということ学びました。また、患者は地域で暮らしている主体性を持った一人の人であり、ソーシャルワークは地域という視点抜きには進めていくことはできない、ということ学びました。

岩間先生の「支援困難事例に至るまでには、支援者自身の不適切な関わり方がある」という厳しい言葉がありましたが、常にソーシャルワークの価値を胸に置き、日々患者と向きあいたいと思いました。自分の実践を振り返り反省すべき点、さらに失敗した事例の原因についても考えることができた有意義な講義を受けることができました。

【黒木記念病院 下山 未起】

## 大分県地域リハビリテーション研究会研修会

平成 26 年 11 月 30 日 (日)

「地域包括ケアシステム～自立支援を考える～ 生活習慣病予防1・早期発見・介護予防」をテーマに、別府ビーコンプラザ 国際会議室にて開催されました。

この研究会の運営委員として、ネットワーク部会より小城理事が参加しています。今回は一般の方を対象に、講演会や各協会の展示ブース等が設置され、当協会では総合相談窓口として相談を受け、関係する各協会に案内する役割を行いました。

## 学術部「やりがい」研究の論文作成における「やりがい」について

慣れない論文の作成に戸惑う部員も少なくはなく、分析方法や理論展開に苦慮しつつも、部員相互で議論をし、互助の関係で理解を深めることが出来ました。又、参考文献の検索や収集、そして考察を検討し、各部員の考えた内容や文章が、必ず論文に反映される様に執筆しました。

今期の学術部の活動の集大成であった「やりがい」研究における論文の完成には、個の繋がりで出来た、部としてのチームワークと、その過程を振り返り「やりがい」を感じる部員の表情がありました。

【学術部部长 尾辻健太 (大分記念病院)】







# Social Cafe Open

“ソーシャルカフェ”とは、  
我々MSWの仲間が集うカフェ♪



昨年度よりネットワーク推進部の事業として、各地域で開催されている“地区コミ会議”。この仕事の「やりがい」と「やらかしてしまっただこと」をテーマに職場・年代を越え、ソーシャルワークへの思いや経験談や思いを語り合いました。

リラックスした空間で、参加された皆さんそれぞれに、とても充実した時間を過ごしていただけたと感じています。

地区コミ会議が、今後も会員の皆さんに気軽に参加していただける会になるよう計画・運営して参ります。よろしくお祈いします。  
【ネットワーク推進部理事 小川 英彦（黒木記念病院）】

## 【北部・東部地区】

開催日：平成 26 年 12 月 9 日（土）  
会 場：黒木記念病院  
参加者：18 名

8 月に予定されていた東部地区コミ会議が台風の影響で延期となっていた為、北部地区との合同開催となりました。



## 【中部地区】

開催日：平成 27 年 2 月 7 日（土）  
会 場：コンパルホール  
参加者：20 名

大分市・臼杵市が対象です。  
終了後、新年会が行われました。



自分のやりがいや、やらかしたことを先輩方に共有してもらって嬉しかった。エピソードは違っても、処々で共感していくことができ、改めて根っこの部分は同じなんだ、と感じました。

(MSW 歴 5 年未満)

失敗しても良いんだ、私だけじゃないんだと思えました。話しやすい雰囲気を作ってくれたのでよかったです。

(MSW 歴 10 年未満)

普段お話をする機会のない方とも仕事やプライベートの話ができ、楽しい時間を過ごすことができました。

(MSW 歴 10 年以上)

いろんな機能の病院の方とお話しができて視野を広げることができました。経験を重ねた方々のやりがいの話を伺い、自分も頑張っていきたいと改めて思いました。(MSW 歴 3 年未満)

\*参加者アンケートの声より抜粋\*



# 新年会

2月7日(土)  
at リーガルホテル

MSW 仲間との楽しい集い！この日は地区コミの開催日だったので、そのままよい雰囲気懇親会へ足を運ばれた方も多かったようですね。佐藤 MSW(赤十字病院)による万歳三唱の言葉に感極まった？ワタクシ達は、ともに手を取り合い、心をひとつにし、どさくさに紛れてワタクシは井元会長と手をつなぎ、新年を祝ったのであります！みなさん、今年も頑張りましょう～！  
【広報部理事 古木和美(南海医療センター)】



## \* \* \* \* \* 理事会だより \* \* \* \* \*

【臨時総会】  
2014.11.3 臨時総会 (ホルトホール大分)

【常任理事会】  
2014.09.25 第7回理事会  
おおいた大会/勇美財団研究終了報告/法人化

2014.10.23 第8回理事会 (ホルトホール大分)  
おおいた大会/地域リハ研究会

2014.12.05 第9回理事会 (大分市西部公民館)  
おおいた大会報告/地区コミ会議/SV研修


2015.01.22 第10回理事会 (大分市西部公民館)  
災害SW研修/地区コミ会議/学術論文進捗状況/SV研修

2015.02.10 第11回理事会 (大分市西部公民館)  
平成26年度事業報告書作成/災害SW研修/SV研修

2015.03.10 第12回理事会 (大分市西部公民館)  
平成27年度事業計画



臨時総会の様子

 総会のお知らせ  
 日時：平成27年3月29日(日)  
 15:00～16:30  
 場所：大分県社会福祉介護研修センター 3階大ホール  
 災害SW研修後開催致します。

### 災害ソーシャルワーク研修

ソーシャルワーカーとして、私たちにできる事～東日本大震災から学ぶ～  
 日時：平成27年3月29日(日)9:30～14:30(休憩 11:30～12:30)  
 会場：大分県社会福祉介護研修センター 3階大ホール

新入会者の紹介  
H26.8～H27.2

- ・ 小野博之 曾根病院
- ・ 金丸友香 児玉病院
- ・ 佐藤英之 諏訪の杜病院
- ・ 後藤優実 大分県立病院